

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公開番号】特開2005-15460(P2005-15460A)

【公開日】平成17年1月20日(2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-003

【出願番号】特願2003-366734(P2003-366734)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	Z N A
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	43/00	1 0 1
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

Na<sup>+</sup>/グルコーストランスポーター(SGLT)ホモログの活性を阻害する化合物またはその塩を含有してなる小腸でのグルコース取り込み阻害剤。

【請求項2】

Na<sup>+</sup>/グルコーストランスポーター(SGLT)ホモログの遺伝子の発現を阻害する化合物また

はその塩を含有してなる小腸でのグルコース取り込み阻害剤。

【請求項 3】

食後過血糖改善剤である請求項 1 または 2 記載の剤。

【請求項 4】

糖尿病、肥満症または高脂血症予防・治療剤である請求項 1 ないし 3 記載の剤。

【請求項 5】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログの活性を促進する化合物またはその塩を含有してなる小腸でのグルコース取り込み促進剤。

【請求項 6】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログの遺伝子の発現を促進する化合物またはその塩を含有してなる小腸でのグルコース取り込み促進剤。

【請求項 7】

グルコースの吸収促進剤である請求項 5 または 6 記載の剤。

【請求項 8】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログが配列番号 : 1 で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するタンパク質もしくはその部分ペプチドまたはその塩である請求項 1 ないし 7 記載の剤。

【請求項 9】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログが配列番号 : 3 で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するタンパク質もしくはその部分ペプチドまたはその塩である請求項 1 ないし 7 記載の剤。

【請求項 10】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログが配列番号 : 5 で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するタンパク質もしくはその部分ペプチドまたはその塩である請求項 1 ないし 7 記載の剤。

【請求項 11】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログが配列番号 : 50 で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するタンパク質もしくはその部分ペプチドまたはその塩である請求項 1 ないし 7 記載の剤。

【請求項 12】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログをコードするポリヌクレオチドの塩基配列に相補的もしくは実質的に相補的な塩基配列またはその一部分を含有するアンチセンスポリヌクレオチドを含有してなる小腸でのグルコース取り込み阻害剤。

【請求項 13】

食後過血糖改善剤である請求項 12 記載の剤。

【請求項 14】

糖尿病、肥満症または高脂血症の予防・治療剤である請求項 12 または 13 記載の剤。

【請求項 15】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログをコードするポリヌクレオチドが配列番号 : 2 、配列番号 : 4 、配列番号 : 6 または配列番号 : 51 で表される塩基配列と同一もしくは実質的に同一の塩基配列を含有するポリヌクレオチドである請求項 12 ないし 14 記載の剤。

【請求項 16】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログに対する抗体を含有してなる小腸でのグルコース取り込み阻害剤。

【請求項 17】

食後過血糖改善剤である請求項 16 記載の剤。

【請求項 18】

糖尿病、肥満症または高脂血症予防・治療剤である請求項 16 または 17 記載の剤。

【請求項 19】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログが配列番号 : 1、配列番号 : 3、配列番号 : 5 または配列番号 : 50 で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するタンパク質もしくはその部分ペプチドまたはその塩である請求項 16 ないし 18 記載の剤。

【請求項 20】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログに対する抗体を含有してなる食後過血糖の診断薬。

【請求項 21】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログをコードするポリヌクレオチドを含有してなる食後過血糖の診断薬。

【請求項 22】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログを用いることを特徴とする、該ホモログの小腸でのグルコース取り込み活性を調節する化合物またはその塩のスクリーニング方法。

【請求項 23】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログが配列番号 : 1、配列番号 : 3、配列番号 : 5 または配列番号 : 50 で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するタンパク質もしくはその部分ペプチドまたはその塩である請求項 22 記載のスクリーニング方法。

【請求項 24】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログを含有することを特徴とする、該ホモログの小腸でのグルコース取り込み活性を調節する化合物またはその塩のスクリーニング用キット。

【請求項 25】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログをコードするポリヌクレオチドを用いることを特徴とする、該ホモログの小腸でのグルコース取り込み活性を調節する化合物またはその塩のスクリーニング方法。

【請求項 26】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログをコードするポリヌクレオチドが配列番号 : 2、配列番号 : 4、配列番号 : 6 または配列番号 : 51 で表される塩基配列と同一もしくは実質的に同一の塩基配列を含有するポリヌクレオチドである請求項 25 記載のスクリーニング方法。

【請求項 27】

$\text{Na}^+$  / グルコーストランスポーター (SGLT) ホモログをコードするポリヌクレオチドを用いることを特徴とする、該ホモログの小腸でのグルコース取り込み活性を調節する化合物またはその塩のスクリーニング用キット。